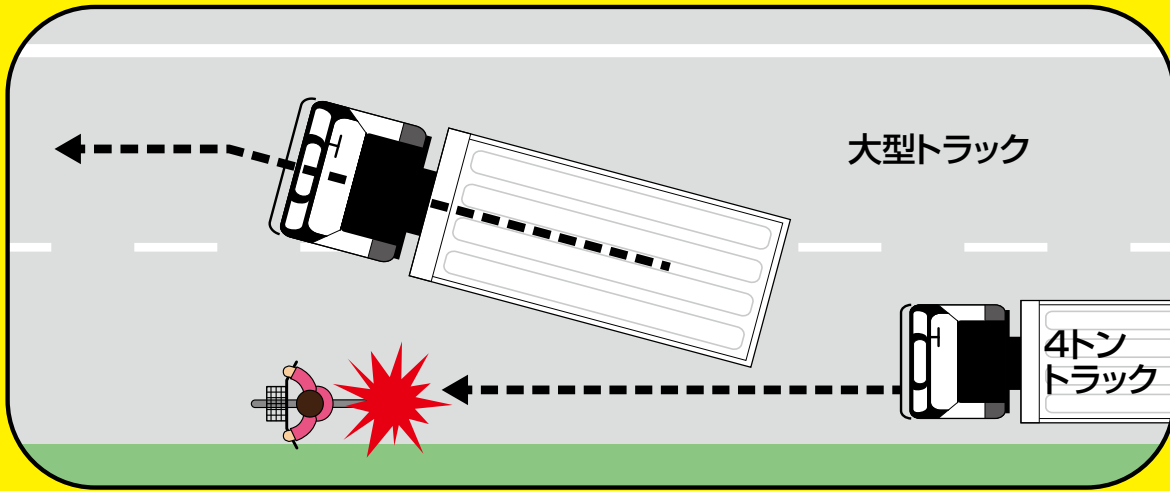


先行車の車線変更後は危険!

～大型トラックに隠れていた自転車を撥ねる～



どのような場所か…

片側2車線の直線道路。

どのような事故か…

大型トラックの後ろを4トントラックが追走。

急に大型トラックが車線変更したが、4トントラックのドライバーは追走のままの意識でいたため自転車の発見が一瞬遅れ自転車を撥ね飛ばしてしまった。

原因は…

先行車との車間距離不保持と前方不注視。

この事故を防ぐためには…

車間距離を十分にとっていれば、先行車がどんな動きをしても余裕を持った対応ができます。

また、先行車の前方は見通しが利かずどんな危険が存在しているか分かりません。

自転車を追い抜く時に、ウィンカーの点灯をギリギリで行ったり、点灯すらしないドライバーもいます。

追走している時には、周囲への動静注視力が落ちていきますので、緊張感を持った運転と何が起ころうとも十分に危険回避ができる車間距離を心がけてください。



《事故防止上の注意点》

- 道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。歩道と車道の区別があるところでは車道を通行するのが原則。交通弱者が車道を走っていると言う意識を持ってください。
- 車間距離を十分に取ると、割り込んでくる乗用車が多いとは思いますが事故はその車に任せて、自身は事故をしない運転を心がけてください。



YONKOKYO

事故事例ニュース

第296号

四国交通共済協同組合
安全対策部

坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)

0877-85-7992
電話0877-44-4416代

車間距離開ければ無事故の距離になる